

しずくつつうしん

FOR
KID'S



【えほん】『おもちのおふろ』 荻田澄子 作・植垣歩子 絵（学研）

さむい さむい ひ。おもちのもーちゃんとちーちゃんがおふろやさんにいきました。
おもちのおふろってどんなおふろ？どんなおきゃくさんがはいているのかな？



ことしはひつじ年です。ふわふわでかわいいひつじたちは見ているだけでもなんだかあったかいきもちになりますね★

『ひつじのむくむく』【えほん】

村山桂子作・太田大八絵（福音館書店）

ひつじの子むくむくはとってもたいくつ。みんなに「あそんで」とおねがいしますが、おしごとちゅうでだれもあそんでくれません。さいごにおおかみにこえをかけたら、あそんでくれるといいです。よろこんでおおかみについていったむくむくですが…。

『そだててあそぼう28 ヒツジの絵本』【645】

むとうこうじ編・スズキコージ絵（農文協）

ヒトとヒツジのつきあいは紀元前8000年前までさかのぼることができます。毛糸、お肉、楽器など…形を変えてヒトをたすけてくれるヒツジ。ヒトとヒツジの長い歴史、種類、育て方などこの本一冊でヒツジのいろいろなことをすることができますよ。

『108ぴきめのこひつじ』【えほん】

いまいあやの作（文溪堂）

ねむれないメイちゃん、ひつじをかぞえたらねむれるかしら？「ひつじがいっぴき、ひつじがにひき、ひつじがさんびき…」108ぴきまでかぞえたときゴツン！108ぴきめのひつじがベッドをうまくとびこえられず、たんこぶをつくっていたのです。

今月の詩（1月）

『ひつじがこひつじ』（フレールベル館）より

ねむれないとき
ひつじをかぞえる
ひつじが いっぴき
ひつじが にひき
ひつじが さんびき
ひつじが かせひき
ひつじが ななひき
ひつじが つなひき
ひつじが じっぴき
ひつじが きやくひき
ひつじが ひやくひき
ひつじが ゆきかき
ひつじが しりかき
ひつじが いびき
ねむれなければ
さいしよにもどる

ひつじ

木坂 涼



『こひつじクロ』【Nシヨ】

エリザベス・ショー作（岩崎書店）

みんなまっしろなのに、いっぴきだけまっくろなクロ。犬のポロはクロのことが目ざわりでしかたありません。「ぼくもしろになりたいな」となやむクロに、ひつじかいのおじいさんだけは「おまえはそのままが一番」といってくれるのです。そんなあるひ、とつぜんひどいあらしがやってきて、クロとひつじたちは山の中にとりのこされてしまいます…。



1 がつのカレンダー★としょかんは10じから6じまであいています★

にちようび	げつようび	かようび	すいようび	もくようび	きんようび	どようび
	<div style="border: 1px solid green; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content;"> <p>しりょうてんけんび としよかん 資料点検日には、図書館をしてみんなが としよかん ほん せいり 図書館をつかいやすいように本を整理したり、 ならべかえたりしています。</p> </div>			1 としよかん 図書館は やす お休みです	2 としよかん 図書館は やす お休みです	3 としよかん 図書館は やす お休みです
4	5 としよかん 図書館は やす お休みです	6	7	8 しりょうてんけんび 資料点検日 としよかん ★図書館は やす お休みです	9	10 11:00~ やまぼとの おはなし おはなし
11	12 しゅくじつかいかん 祝日 開館 (せいじんのひ)	13 としよかん 図書館は やす お休みです (振替休日)	14	15 11:00~ ぐるんぱの えほん じかん 絵本の時間	16	17 11:00~ おはなし かい 会
18	19 としよかん 図書館は やす お休みです	20	21	22 11:00~ ぐるんぱの えほん じかん 絵本の時間	23	24 11:00~ ゆめっこ劇場 (ほんたの にんぎょうげき)
25	26 としよかん 図書館は やす お休みです	27	28	29 11:00~ ぐるんぱの えほん じかん 絵本の時間	30	31



マークの白には行事があります。もうしこみ・お金はいりません。

※ゆめっこ劇場は視聴覚ホール、それ以外はおはなしのへやでおこなわれます。

1月の豆ちしき

＜羽根つき＞



たこあげや独楽回しは男の子に人気でしたが、女の子の正月遊びは、羽根つきや手まりなどでした。

羽根つきのルールはかんたんで、バトミントンのように羽子板で羽を打ち合い、多くミスをしたほうが負けとなります。ミスをした人は顔にすみをめられるという、ゆかいなルールで行うところもありました。

羽根つきは単純な遊びですが、じつはその年1年間のわざわいはらう大切な行いであったともいわれています。また、その年を占うことにも使われたようです。

江戸時代には、羽子板は生まれてまもない女の子へのすこやかな成長を願うおくりものとして用いられ、しだいに遊具より魔よけを目的とした装飾用の羽子板がたくさんつくらるようになりました。

【参照】『日本の年中行事 1月・2月』深光富士男著(学研)より

